TBA・機工具版

電話03(6667)1037
FAX03(6667)1041

初代ロードスター用を復刻

BSが再発売

ブリヂストンは、マツダの初代ロードスター（NA型）のレストア向けタイヤ「SF325」を来年1月から国内で販売する。

装着タイヤサイズは185／60R14－82H。SF325は、マツダが1989年に発売した初代ロードスターに新車装着されたタイヤ。2003年に生産を終えたが、初代ロードスターのレストア（老朽化などで劣化した車部品などの修理・復活）サービスおよび市販用に復刻した。

初代ロードスターは発売以来、今も多くのファンに愛され続けている車だ。

同社は、マツダの「ブランド・アイコンのロードスターをいつまでも乗り続けてほしい／古い車を愛でるような車文化を育みたい」という想いに共感し、同車に新車装着されていたSF325をレストア向けに復刻させた。

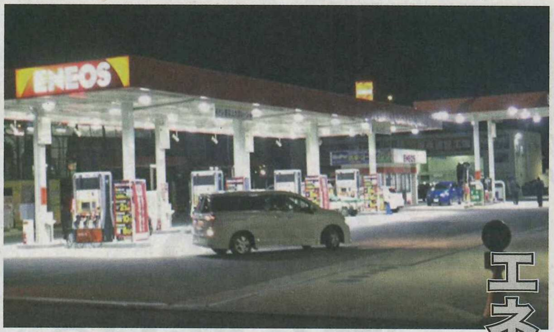
同社は「往年のロードスターファンの期待に応えるため、外観の再現だけでなく、乗り心地にもこだわったタイヤに仕上がった」と、強調する。

好評博す広角タイプ

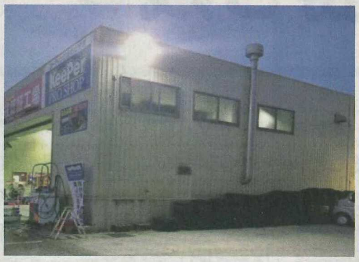
グッドワン製LED照明

エネクスフリート8SSに

エネクスフリートは7月までに、8SSで水銀灯からLED照明への切り替えを実施した。LED照明はグッドワン（東京都中央区）製で、販売窓口は日立オートモティブシステムズメジャメントが務めた。今回はキャノピー灯、ヤード灯と合わせてサービスルームなどの照明も同時にLED化した。導入SSでは設置前後で照度比較を行い、水銀灯の実測値285ルクスに対し、LED導入後は880ルクスで約3倍。「非常に明るいSSになった」と、各SSマネージャーは高評価している。明りの広がりでも90度、110度の広角タイプを採用したことで、明るさと合わせて好評だ。



インター伊那インターチェンジSSのキャノピー灯



同SSのヤード灯

SSで幅を利かせていた水銀灯が急速に姿を消し始めている。

水銀条約（水銀に関する水俣条約）で、2020年以降の製造・輸出入が原則禁止されたのが大きいが、LED照明の製品レベルの長足の進歩および省エネへの貢献度の高さが浸透した結果と考えられる。

LED照明を導入したSSからは「夏になると夜間はとくに水銀灯に虫が寄りつき、セルフSSにも給油客にも天敵だが、LED照明に交換した翌日から虫が激減したと導入先から喜ばれている」（グッドワン）。

SS間の生き残り競争も激化の一途だが、SS間の差別化でもLED照明は大きな武器だ。LED照明で武装した大規模セルフは遠方からでも視認性が高いのに対し、近隣にLED照明に変更したSSに登場された水銀灯仕様SSは「通夜」を連想してしまうほどの薄暗さを感じてしまう。

LED照明に変更直後のSSが「近隣SSのなかでもひときわ明るいSSと好印象を持たれる」との話をよく耳にするが「さもありなん」と思えてくる。

グッドワンは、6月に開催されたSSビジネス見本市でLED照明展示を水槽の中に入れて点灯する荒業で、完全防水・防塵を強くアピールした。加えて同会場で来場者の関心を集めたのが、5年間の完全保証（製品・修理）だ。同社は「高品質だからこそ安心して使用できることを保証として証明した」と、胸を張る。

同社は、LEDキャノピー灯やヤード灯の新製品発表から現在まで、提携代理店やSS経営者からの問い合わせ対応に追われている。昨年10月から設置が始まったLED照明の新製品は、7月末で1000台を突破。8～9月の設置工事を待つ案件も多数控える。

設置工事待ち組には、新規でLED化を検討するSSに加え、5年以上前に導入したLED照明からの切り替えを検討するSS経営者、すでに他社製LED照明を取り扱っている販売店など多岐にわたる。これに「水銀灯廃止の流れ」も加わるため、LED照明事業は多忙を極める。

グッドワン製のLED照明を設置したエネクスフリート設置SSは、昨年11月の伊那インターチェンジSS（長野県箕輪村）が皮切りで、今年7月に黒磯バイパスSS（栃木県那須塩原市）、岡部SS（埼玉県深谷市）、大井埠頭SS（東京都大田区）、高森SS（長野県高森町）、長岡SS（新潟県長岡市）、西宮インターSS（兵庫県西宮市）、福岡インターTS（福岡県粕屋町）と続いた。

設置したLEDは、キャノピー灯、ヤード灯、ピット投光器、蛍光灯、ダウンライトで、照明の大半がLED照明に切り替えられた。

損害保険ジャパン日本興亜は、スマートフォンアプリと連動して安全運転ドライバーの保険料を軽減する新割引「安全運転割引」を導入す

算出し、アプリに表示された割引率画面を提示することで、最大20%の保険料割引を適用した自動車保険の新規契約が行える。アプリはiOS

等級または7（S）等級。自家用8車種に限り、契約期間の初日が2018年1月1日以降。

割引スコアの算出には、同

する。

保険料の割引率は、契約等級6（S）等級の場合は割引スコア80～100点で20%

0～9点で2%。7（S）等

横浜ゴム

冬の怪物、登場

テレビCFで新STL訴求

横浜ゴムは、乗用車用スタッドレスタイヤ（STL）の新商品「アイスガード6」の新作テレビCFを北海道エリアを皮切りに順次放映している。「アイスガード」サイトや同社のウェブサイト、ニコニコチャンネルなどSNSの公式チャンネルでも順次配信している。

新作CFは「アイスガード6」のキャッチコピー「冬の怪物」を全面的にアピールした仕上がりだ。雪の降り積もる薄暗い林道の向こうから1台の車両が現れ、回転しながら進む「アイスガード6」の映像と切り替わりながらゆっくりと迫る。やがて画面はアイスガード6に覆い尽くされ「冬の怪物」に例えたアイスガード6の冬路面での力強い走りを強烈に印象づける。

「冬の怪物」はヨコハマスタッドレス史上最高性能を意味し、アイスガード6の性能への強い自信が込められた。今後、このキャッチフレーズを使用したビジュアルを店頭広告や販促品にも使用し、アイスガード6を象徴するフレーズとして市場に浸透させていく方針だ。

アイスガード6は、アイスガードの基本コンセプト「氷に効く／永く効く／燃費に効く」に加え、「ウェットに効く／音に効く」を新たなベネフィットとして追加。従来品「アイスガード5プラス」で好評の氷上制動性能を15%向上するとともに、ウェット性能を5%高めた。パターンノイズも33%、ロードノイズを25%低減している。「性能の持続性、低燃費性能も従来品同等レベル以上を確保している」（同社）。

YOKOHAMA
冬の怪物、登場。
その技術力と情熱が、
異次元の性能を生み出した。
氷上制動15%向上。
NEW iceGUARD 6
iG60

広告ビジュアル

MS&AD

多言語対応を拡充

ロードサービスにも導入

MS&ADインシュアランスグループ2社（三井住友海上火災保険、あいおいニッセイ同和損害保険）は、事故対応や保険相談・問い合わせ窓口における「14カ国語対応」を8月開始した。訪日外国人旅行者の増加など多言語によるサービス提供のニーズが高まる社会状況を受け、多言語対応の充実を図った。

事故に遭った保険契約者や相手方、また保険に関する相談・問い合わせ時に日本語によるコミュニケーションが困難な場合に、通訳オペレータを介して多言語でのやり取りを可能にする。従来の4カ国語から14カ国語に態勢拡大したほか、自動車保険のロードサービスにも新たに導入することで、より幅広い顧客に利便性の高いサービスを提供できるとした。

顧客と保険会社担当者、通訳オペレーターの三者が電話回線を同時接続して、顧客と担当者が通訳オペレータを介してリアルタイム・スムーズな対応を可能にした。

対応する言語は英語、中国語、ポルトガル語、韓国語、インドネシア語、タイ語、タガログ語、ベトナム語、ネパール語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、ロシア語。

グリース株式会社
保篤志
市鶴見区末広町一丁目12-4
ilac-MRA IAJapan JCSS 0297 JCSS
当社標準室は国際MRA対応JCSS認定事業者です。

エアコン用
クリーンフィルター
エアコンフィルターはP.M.C.
PM2.5対応